

総計区分	主要施策	基本事業（施策）				事務事業															
		番号	施策名	評価区分	評価	番号	事務事業名	評価区分	評価												
I	情報化の推進	1	高度情報化の充実	1次	A	システム導入以降、機能向上、機器の更新を実施し、情報化のレベルアップを図ってきている。	1-1	イントラネット機器等更新事業	1次	A	事務処理の効率化と住民サービス向上のため、システムの適切な維持管理を継続する必要がある。										
				WG	—	1次評価のとおり			WG	A	1次評価のとおり										
				外部	—	1次評価のとおり			外部	A	1次評価のとおり										
				2次	—	1次評価のとおり			2次	A	1次評価のとおり										
		2	情報通信基盤の整備	1次	B	一部の学校で高速通信環境となっていないが、高速通信基盤を活用した期間情報システムのクラウド化は先進的な取り組みとして高く評価されている。	2-1	総合行政システム機器更新事業	1次	—	平成24年度に終了した事業のため評価なし										
				WG	—	1次評価のとおり			WG	—											
	外部			—	1次評価のとおり	外部			—												
	2次			—	1次評価のとおり	2次			—												
	効率的な行政運営	3	計画行政の推進	1次	A	行政評価システムと連動した総合計画の進行管理を行っている。	3-1	総合計画策定・推進事業	1次	A	自治基本条例に掲げる市民が主役のまちづくりの推進のため、引き続き市民参加のもと総合計画の策定及び進行管理を行う必要がある。										
WG				—	1次評価のとおり	WG			A	1次評価のとおり											
外部				—	1次評価のとおり	外部			A	1次評価のとおり											
2次				—	1次評価のとおり	2次			A	1次評価のとおり											
II	地域福祉の推進	4	福祉のまちづくりの推進	1次	A	個別計画は概ね目標に向け順調に推移しており、それらの計画と整合性を図りながら地域福祉を推進していくことが重要である。	該当事業なし														
				WG	—	1次評価のとおり															
				外部	—	1次評価のとおり															
				2次	—	1次評価のとおり															
	5	低所得者支援	1次	A	日々のケースワークや相談業務において、ハローワークとも連携をしながら低所得者に対し自立を目指した助言・指導を行っており、福祉灯油支援事業により12月までには対象者に通知をしており順調に推移している。	5-1	福祉灯油支援事業	1次	A	低所得世帯に対し、灯油券を配布することにより生活条件の改善と生活意欲の助長が図られており、低所得世帯に対する生活支援として継続が必要である。											
			WG	—	1次評価のとおり			WG	A	1次評価のとおり											
			外部	—	1次評価のとおり。自立促進に向けたさらなる施策展開を期待。			外部	A	1次評価のとおり											
			2次	—	1次評価のとおり			2次	A	1次評価のとおり											
	高齢者福祉の充実	6	介護予防事業の推進	1次	B	介護状態になる可能性の高い高齢者のうち利用希望者を対象として通所型介護予防事業を展開してきたが計画目標は若干達成できなかった。また、総合相談支援業務については、高齢化が進み、件数が増加してきているが、必要な支援は概ねできており、数値目標も達成できた。	6-1	通所型介護予防事業	1次	A	介護保険法の改正（平成27年4月施行だが、平成29年度から実施、一部事業は平成30年度から実施開始可能の経過措置あり）のことから、改正に併せ見直しが必要となるが、それまでは現状のまま継続をしていく。										
									WG	A	1次評価のとおり										
									外部	A	1次評価のとおり										
				WG	—	1次評価のとおり	6-2	訪問型介護予防事業	1次	A	介護保険法の改正（平成27年4月施行だが、平成29年度から実施、一部事業は平成30年度から実施開始可能の経過措置あり）のことから、改正に併せ見直しが必要となるが、それまでは現状のまま継続をしていく。										
WG									A	1次評価のとおり											
外部									A	1次評価のとおり											
外部		—	1次評価のとおり	6-3	総合相談事業	1次	A	介護保険法の改正（平成27年4月施行だが、平成29年度から実施、一部事業は平成30年度から実施開始可能の経過措置あり）のことから、改正に併せ見直しが必要となるが、それまでは現状のまま継続をしていく。													
						WG	A	1次評価のとおり													
						外部	A	1次評価のとおり													
7		ノーマライゼーション思想の普及	1次	A	ふれあい広場を継続的に開催や手話通訳・要約筆記の養成により、市民の障がい者に対する理解や障がい者の社会参加が図られており、概ね順調に推移している。	該当事業なし															
												WG	—	1次評価のとおり							
												外部	—	—							
	2次											—	1次評価のとおり								
	8											生活環境等整備の充実	1次	A	障がい者が安心して日常生活を送るためには、経費負担が重要であり「ハイヤー料金助成事業」「精神障害者市内バス路線割引証明書交付」は有効性の高い事業であり、達成度は概ね順調とユニバーサルデザインなど、生活環境の改善に向けたさらなる施策展開を。	該当事業なし					
外部		—	—																		
2次		—	1次評価のとおり																		

総計 区分	主要施策	基本事業（施策）				事務事業						
		番号	施策名	評価 区分	評価	番号	事務事業名	評価 区分	評価			
Ⅲ	循環型社会の形成	9	環境美化の推進	1次	A	処分場へのごみを持ち込んだ搬入者への分別指導は達成されていることや、ボランティア袋配付団体数及び配付数が概ね達成されている。	9-1	名寄市環境衛生推進員協議会分別指導	1次	A	ごみの減量化・リサイクルの推進の目標はクリアしており、分別指導は今後も継続していく必要がある。ボランティア袋の配付についても、活動団体数等で目標値を概ねクリアしており、順調に推移している。	
				WG	—	1次評価のとおり			WG	A	今後も協議会との連携のもと継続していく必要がある	
				外部	—	1次評価のとおり			外部	A	1次評価のとおり	
				2次	—	1次評価のとおり			2次	A	1次評価のとおり	
	消防	10	防火対策の推進	1次	B	設置率は上昇しているが、今後は設置率上昇の頭打ちが予想される。	該当事業なし					
				WG	—	平成23年度から一般家庭への設置が義務付けされていることから、電池や機器の更新時期に来ていると思われる。さらなる啓発・広報を。						
				外部	—	1次評価のとおり						
				2次	—	1次評価のとおり						
	防災対策の充実	11	治山・治水	1次	A	河川整備については予定していた箇所において整備を進めることができた。近年異常気象に伴い、排水機場の稼働が多くなってきている。維持管理を進める事で緊急に稼働を進める事ができた。	11-1	普通河川の維持整備事業	1次	A	毎年度、修繕の必要性のある河川を選定し、市民からの要望等に応えている。	
				WG	—	1次評価のとおり			WG	A	1次評価のとおり	
				外部	—	1次評価のとおり			外部	A	1次評価のとおり	
				11-2	排水機場維持管理	1次	—	1次評価のとおり	1次	—	維持管理に関する事務事業のため評価なし	
						WG	—		WG	—		
						外部	—		外部	—		
	生活安全	12	関係機関・団体との連携強化	1次	A	名寄市安全安心地域づくり推進協議会は1回から2回、安全安心円卓会議は年1回開催されているので、情報交換の場として有効である。	12-1	生活安全推進事業	1次	A	犯罪のない安全で安心な地域づくりを目指して情報交換、各団体への支援を継続して実施していかなければならない。	
				WG	—	1次評価のとおり			WG	A	1次評価のとおり	
				外部	—	1次評価のとおり。犯罪抑止へのさらなる取組を期待			外部	A	継続が必要な事業。犯罪防止へのさらなる取組を期待。	
				2次	—	1次評価のとおり			2次	A	1次評価のとおり	
	消費生活の安定	13	消費者啓発の推進	1次	A	消費者教育・情報提供については、広域相談センターとしての体制整備、相談員のレベルアップ及びセミナーの開催などで順調に推移している。	13-1	消費者教育・情報提供	1次	A	補助事業が継続している間は現状のまま実施していく。	
				WG	—	1次評価のとおり			WG	A	必要な事業であり、継続が必要	
				外部	—	1次評価のとおり			外部	A	継続が必要な事業。他市町村でも消費生活セミナーを開催できるとなるとよい	
				13-2	消費者活動の支援・育成	2次	—	1次評価のとおり	1次	A	消費者の利益を保護し消費生活の安定と向上を図る消費者行政は、行政と消費者団体が協働することで実効性が高まり、長年の協会の活動実績からも現状のまま継続していく。	
		WG	—			1次評価のとおり	WG	A	1次評価のとおり			
		外部	—			1次評価のとおり	外部	A	1次評価のとおり			
		14	物価の動向調査	1次	A	委託契約どおり各調査が実施されており、商品試質量目調査については事業所においてもほぼ適正に計量表示されている。	14-1	商品需要情報の提供	1次	A	消費者への情報提供手段として有効であり、経費もゼロなので今後も継続して実施していく。	
				WG	—	1次評価のとおり			WG	A	有効な情報であり、広報の折込みなどを活用した、さらなる情報提供を	
				外部	—	1次評価のとおり			外部	A	1次評価のとおり	
				14-2	物価動向調査・監視	2次	—	1次評価のとおり	1次	A	消費者が不利益とならないよう生活関連物資の表示の適正、計量の適正が図られる有効な手段であり、現状のまま継続していく。	
WG	—					1次評価のとおり	WG	A	1次評価のとおり			
外部	—					1次評価のとおり	外部	A	1次評価のとおり			
住宅の整備	15	公営住宅建て替え促進	1次	A	団地入居者の円滑な事業協力もあり、建替え戸数は計画どおり遂行しており、順調に推移している。	15-1	北斗団地建替事業	1次	A	北斗団地の建替事業は公営住宅等長寿命化計画に基づき順調に進捗よくしている。		
			WG	—	1次評価のとおり			WG	A	1次評価のとおり		
			外部	—	1次評価のとおり			外部	A	1次評価のとおり		
			15-2	新北斗団地改善事業	2次	—	1次評価のとおり	1次	A	新北斗団地の建替事業は公営住宅等長寿命化計画に基づき順調に進捗よくしている。		
					WG	—	1次評価のとおり	WG	A	1次評価のとおり		
					外部	—	1次評価のとおり	外部	A	1次評価のとおり		
2次	—	1次評価のとおり	2次	A	1次評価のとおり							

総計 区分	主要施策	基本事業（施策）				事務事業					
		番号	施策名	評価 区分	評価	番号	事務事業名	評価 区分	評価		
Ⅲ	都市環境 の整備	16	都市計画制度 の推進と適正 な管理	1次	B	地籍数値情報のデジタル化については、要望額に対しての国からの補助金が減額となっていることから、進捗状況は遅れているが、公園遊具の再整備や「よーな」の整備など、計画的なまちづくりの推進により、市街地地区の賑わいの再生と生活環境の向上を進めている。	16-1	地籍数値情報化事業	1次	A	地籍情報のデジタル化は有効であるため、事業としての継続は必要である。
				WG	—	1次評価のとおり。地籍情報の早急なデジタル化が必要			WG	A	1次評価のとおり。地籍情報の早急なデジタル化が必要。
				外部	—	1次評価のとおり。地籍情報の早急なデジタル化が必要			外部	A	1次評価のとおり。地籍情報の早急なデジタル化が必要。
				2次	—	1次評価のとおり			2次	A	1次評価のとおり。国の補助金を活用し、推進する。
		17	美しい市街地 の形成	1次	A	市街地の道路施設に関する維持管理のため、適正に実施している。	17-1	緑化木維持管理	1次	A	道路環境の美化を継続する必要がある。
				WG	—	1次評価のとおり			WG	A	1次評価のとおり
				外部	—	1次評価のとおり			外部	A	1次評価のとおり
				2次	—	1次評価のとおり			2次	A	1次評価のとおり
				WG	—	1次評価のとおり	17-2	フラワーロードの 管理	1次	A	道路の維持管理として継続が必要。
									WG	A	1次評価のとおり。さらなる害虫発生 の抑制を
									外部	A	1次評価のとおり
									2次	A	1次評価のとおり
	2次	—	1次評価のとおり	17-3	街路維持管理事業	1次	A	防犯効果と事故を防止するため、街路 灯の維持管理は継続とする。			
						WG	A	1次評価のとおり。今後も維持管理の 徹底を。			
						外部	A	1次評価のとおり			
						2次	A	1次評価のとおり			
	下水道・ 個別排水 の整備	18	施設の維持管理	1次	A	毎年度の予定整備・修繕を実施している ことから順調と判断した。	該当事業なし				
				WG	—	1次評価のとおり					
				外部	—	1次評価のとおり					
				2次	—	1次評価のとおり					
		19	資源の有効利 用	1次	A	平成24年度利用実績120tと減少理由 は、汚泥分析結果で、ヒ素の公定規 格(50mg/kg)に対し(40mg/kg) の結果に基づき、自主規制による普 通肥料出荷停止に伴う減少。そのほか は、普通肥料の出荷は順調である。	該当事業なし				
				WG	—	1次評価のとおり					
	外部			—	1次評価のとおり						
	2次			—	1次評価のとおり						
道路の整備	20	幹線道路の整備	1次	A	道路整備は高額な事業費がかかるため 国庫補助事業（交付金）を頼りとして いる。舗装率向上のために、今後も引 き続き、優先順位、市民要望の高い道 路について事業化できるよう継続的に 要望していく。	20-1	徳田18線緑丘連 絡線	1次	A	国の方針で進捗状況は左右されるが、 市民要望に応えるため事業完了に向け 継続することが必要である。	
			WG	—	1次評価のとおり			WG	A	1次評価のとおり	
			外部	—	1次評価のとおり			外部	A	1次評価のとおり	
			2次	—	1次評価のとおり			2次	A	1次評価のとおり	
			外部	—	1次評価のとおり	20-2	昭和通	1次	A	国の方針で進捗状況は左右されるが、 市民要望に応えるため事業完了に向け 継続することが必要である。	
								WG	A	1次評価のとおり	
	WG	—	1次評価のとおり	21-1	道路維持機械購入 事業	1次	A	道路維持の継続による必要な事業。			
						WG	A	1次評価のとおり			
						外部	A	1次評価のとおり			
						2次	A	1次評価のとおり			
	22	橋梁の整備	1次	A	橋梁整備は高額な事業費がかかるため 国庫補助事業（交付金）を頼りとして いる。今後も引き続き、整備の必要な 橋梁について事業化できるよう継続的 に要望をしていく。	22-1	橋梁長寿命化事業	1次	A	国の方針で進捗状況は左右されるが、 市民の安心安全なまちづくりのために 事業完了に向け継続することが必要で ある。	
			WG	—	1次評価のとおり			WG	A	1次評価のとおり	
外部			—	1次評価のとおり	外部			A	1次評価のとおり		
2次			—	1次評価のとおり	2次			A	1次評価のとおり		

総計 区分	主要施策	基本事業（施策）				事務事業					
		番号	施策名	評価 区分	評価	番号	事務事業名	評価 区分	評価		
IV	林業の振興	23	森林施業の計画的推進	1次	A	地域林業システムの形成や地域材の産地化・銘柄化に努め、林業の生産性の向上を図るなか、市内における木質バイオマスの需要と供給の現状調査により、集材推計量は可能性を含め今後、具体的な検討が必要である。	23-1	市有林造林事業	1次	A	森林の有する多面的機能を確保していくため、林業生産の場だけの役割でなく、精神的なゆとりの場、健康的な活動の場など、保健・文化・教育等の場として、保育事業に重点を置き森林整備に努めている。
				WG	—	1次評価のとおり			WG	A	1次評価のとおり
				外部	—	1次評価のとおり			外部	A	1次評価のとおり
				2次	—	1次評価のとおり			2次	A	1次評価のとおり
		24	木材生産体制の整備拡大	1次	B	地域林業システムの形成や地域材の産地化・銘柄化に努め、林業の生産性の向上を図る必要がある。	24-1	森林整備地域活動支援交付金事業	1次	A	近年、林業採算性の悪化による林業生産活動の停滞や、森林所有者の高齢化を背景として、森林施業意欲の減退しており、森林施業が十分に行われていない状況を計画的かつ一体的な活動を確保するための支援は今後も必要である。
				WG	—	1次評価のとおり			WG	A	1次評価のとおり
	24-2	森林整備担い手対策推進事業	外部	—	1次評価のとおり	24-2	森林整備担い手対策推進事業	1次	A	森林整備の担い手である森林作業員の就労条件を良くすることは、森林整備の推進はもとより、地域への定住促進や山村振興対策などにつながることから今後も継続する必要がある。	
			2次	—	1次評価のとおり			WG	A	1次評価のとおり	
	雇用の安定	25	勤労者の地位向上	1次	B	国内経済を取り巻く環境が厳しさを増す中、市内の事業所数も漸減しているが、概ね加入事業所数や会員数が維持されている。	該当事業なし	該当事業なし	WG	—	1次評価のとおり
				外部	—	1次評価のとおり			外部	A	1次評価のとおり
				2次	—	1次評価のとおり			2次	A	1次評価のとおり
				WG	—	1次評価のとおり			WG	A	1次評価のとおり
V	高等学校教育の振興	26	就学機会の確保	1次	B	現状では2校8間口を維持しているが、将来的な中卒者の減少を考慮すると、関係団体と連携し、間口維持に向けた対策が必要となる。	該当事業なし	該当事業なし	WG	—	1次評価のとおり
				外部	—	1次評価のとおり			外部	A	1次評価のとおり
				2次	—	1次評価のとおり			2次	A	1次評価のとおり
				WG	—	1次評価のとおり			WG	A	1次評価のとおり
	大学教育の充実	27	地域との連携	1次	A	道北地域研究所を中心に、地域課題の解決に努めている。	27-1	道北地域研究所の運営	1次	A	道北地域研究所は名寄市立大学学則第8条及び名寄市立大学短期大学部学則第37条の3に基づく設置であり、適切に運営されている。
				WG	—	1次評価のとおり			WG	A	1次評価のとおり
				外部	—	1次評価に相違なし。効果的なPRを期待			外部	A	1次評価に相違なし。さらに効果的なPRを期待。
				2次	—	1次評価のとおり			2次	A	1次評価のとおり
	食育の推進	28	学校における食育指導	1次	B	栄養教諭を2名配置するとともに、学校給食への地場産食材の積極的な活用を進めている。	該当事業なし	該当事業なし	WG	—	栄養教諭は基準よりも充実した配置になっており、順調に推移している。
				外部	—	1次評価のとおり			外部	A	1次評価のとおり
				2次	—	1次評価のとおり			2次	A	1次評価のとおり
				WG	—	1次評価のとおり			WG	A	1次評価のとおり
家庭教育の推進	29	家庭と地域の教育力の向上	1次	A	対象幼稚園で積極的に家庭教育学級が運営され、交付金制度が活用されている。支援講座においては、要望も受け	29-1	家庭教育学級事業	1次	A	事業の目標及び指標に沿って実施できている。	
			WG	—	1次評価のとおり			WG	A	継続の必要な事業であり、さらなるPRを	
			外部	—	1次評価のとおり			外部	A	1次評価のとおり	
			2次	—	1次評価のとおり			2次	A	1次評価のとおり	
	30	子ども会育成協議会との事業連携と施設のネットワーク化	1次	A	社会体験事業については継続して運営されている。事業の実施に当たっては、学校教育・社会教育の各施設も連携協力しており、有機的に行われている。	30-1	子ども会との連携事業	1次	A	事業の目標及び指標に沿って実施できている。	
			WG	—	1次評価のとおり			WG	A	1次評価のとおり	
			外部	—	魅力ある事業が展開されており、1次評価に相違なし。ただし、参加者拡大に向けた検証を。			外部	A	魅力ある事業が展開されており、継続した実施が必要。ただし、参加拡大に向けた検証を。	
			2次	—	参加者の拡大とリーダーの育成に向けた検証を進める。			2次	A	参加者の拡大とリーダーの育成に向けた検証を進める。	